

平成 28 年度 厚生労働科学研究費に係る利益相反についての情報開示

川崎医科大学 利益相反委員会

平成 29 年 1 月 28 日

研究課題名：Deep Learning 技術を用いた腎生検病理画像の自動分類による病理診断の
効率化と診断補助に関する研究

研究分担者：腎臓・高血圧内科学・教授・柏原 直樹

川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学教室では「産学連携活動に係る受け入れ額」として複数の企業からの奨学寄附金があるが、これらは当学園にて受け入れ、管理されている。また、企業・団体からの報酬・謝礼・原稿料等の個人的収入の受け入れがある。本研究の利害関係については「川崎医科大学利益相反マネジメントポリシー」にそって「川崎医科大学利益相反委員会」へ申告して審査を行い、適正に管理されている。この研究に係る利益相反についての情報を開示するために、平成 27 年度における奨学寄附金の提供団体および個人的収入の提供団体を以下に示す。

企業名：株式会社三和化学研究所、キッセイ薬品工業株式会社、大日本住友製薬株式会社、大塚製薬株式会社、第一三共株式会社、ファイザー株式会社、MSD株式会社、協和発酵キリン株式会社、中外製薬株式会社、鳥居薬品株式会社、日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社、アステラス製薬株式会社、武田薬品工業株式会社、帝人ファーマ株式会社、株式会社富士薬品